

令和7年度(第1回、第2回、第3回、第4回) 危険物取扱者試験 試験案内

一般財団法人 消防試験研究センター奈良県支部

郵便番号 630 - 8115

住 所 奈良市大宮町5-2-11 奈良大宮ビル5階

電 話 (0742) 32 - 5119

F A X (0742) 32 - 5120

消防法(昭和23年法律第186号)第13条の5第1項の規定により、奈良県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

お知らせ

- 1、令和7年度から書面願書に2次元コードが記載され、試験手数料の払込方法に電子申請と同様のものが追加されます。(従前の専用払込用紙を利用した郵便局での払込も可能です。)
- 2、令和6年7月から機能拡大により、複数・併願を含め電子申請で全ての種類の受験申請が可能となりました。
- 3、乙4の電子申請受験者は、午前・午後のいずれの区分の指定を受けても良い状態で申請してください。(センターで事務的に振り分けるため、受験者は指定できません。)
- 4、願書の提出後は、内容の変更、受験の取り止めはできません。

【お願い】

この「試験案内」の「危険物取扱者受験願書記入例」をよく読み、記載されている内容を確認した上で申し込みしてください。

なお、申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなします。

1 試験の種類（取り扱うことができる危険物の種類は、P20を参照のこと。）

第1回～第4回はいずれも甲種・乙第1類～第6類・丙種の全種類実施。

2 試験日および会場

回数	試験日	試験会場	受験地
第1回	令和7年5月18日（日）	天理大学 柚之内キャンパス （天理市柚之内町 1050）	奈良県
第2回	令和7年8月17日（日）		
第3回	令和7年11月16日（日）		
第4回	令和8年2月15日（日）		

注）1、試験会場については、18ページの案内図で確認してください。なお、試験会場への電話での問い合わせは、絶対にしないでください。

2、受験願書の受験地欄には、「奈良県」と記入してください。

3、試験会場の収容人員等の関係で、他の試験会場に変更する場合がありますのでご了承ください。

1）試験区分及び開始時間

試験区分		開始時間
甲	種	午前9時30分
乙種第1, 2, 3, 5, 6類		午前9時30分
丙	種	午前9時30分
乙種第4類	乙種第4類を1種類だけ受験される場合	午前9時30分 又は午後1時
	乙種第4類とそれ以外を受験される場合	午後1時

注）試験開始時間を事前に十分確認のうえ、試験開始30分前には集合してください。また間違いのないよう、ご来場ください。

2）試験開始時間等についての注意事項

① 試験時間の変更など

事故等により会場や日程を変更する場合には、奈良県支部からの緊急情報としてホームページに掲示します。特に、気象庁が発表する特別警報等の災害情報に対処して、試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲示します。

（一財）消防試験研究センターホームページ（<http://www.shoubo-shiken.or.jp>）

② 乙種第4類の受験者への注意事項

ア）乙種第4類を1種類だけ受験される場合

(a) 同一受験者が同一回の午前の部（午前9時30分から）及び午後の部（午後1時から）の二つを同時に受験申請することはできません。

(b) 書面申請では、試験時間帯の希望がある場合は、必ず午前の部又は午後の部のどちらか一つを選択して受験願書の受験地欄の右部分(15ページ参照)に記入してください。（電子申請では午前・午後の指定が出来ません。）

ただし、会場の定数、受付順位により、申請者のすべてが本人の希望する試験時間帯（試験開始時間）になるとは限りません。本人の希望以外の時間帯に指定されることもありますので、**午前・午後いずれの指定を受けても良い状態で出願してください。**

(c) 試験時間帯（午前の部、又は午後の部）は、「受験票」の試験日時欄によって確認してください。

イ) 乙種第4類と乙種第4類以外を受験される場合（併願受験）

この場合乙種第4類は、午前、午後の選択はできません。試験時間帯（試験開始時間）は午後の部（午後1時から）に指定されます。

3 受験願書の受付期間・受付場所等

願書の受付期間・受付場所・受付方法は次のとおりです。

郵送の場合は届かないことがありますので、**必ず簡易書留**で送付してください。（受付最終日の消印有効）

※普通郵便で送付されて届かない場合は、責任を負いかねますのでご注意ください。

	受 付 期 間（書面申請・電子申請とも）
第1回	令和7年4月3日（木）～4月10日（木）
第2回	令和7年6月30日（月）～7月7日（月）
第3回	令和7年9月30日（火）～10月7日（火）
第4回	令和8年1月5日（月）～1月13日（火）

※電子申請の締切時間は受付最終日の23時59分となります。締切直前は混み合って受付ができない可能性がありますので早めの申請をお願いします。

1) 書面申請の受付方法：持参（受付は平日の午前9時から午後5時まで）

又は郵送（簡易書留：受付最終日の消印まで有効）

2) 書面申請の受付及び郵送場所

〒630-8115 奈良市大宮町5-2-11 奈良大宮ビル5階

（一財）消防試験研究センター奈良県支部（18ページ案内図参照）

※ 身体の障害等により受験に際して必要な配慮（車イス、補聴器等の使用など）を希望される場合は、受験申請をする前にご相談ください。なお、内容によっては、ご希望に沿えない場合がありますので、予めご承知おきください。

4 受験資格

1) 甲種の試験

一定の受験資格が必要です。受験資格は次頁の別記1「甲種危険物取扱者試験の受験資格」のとおりです。

2) 乙種および丙種の試験

受験資格の制限はありません。誰でも受験できます。

別記 1

甲種危険物取扱者試験の受験資格

※ 証明書類はコピーでの提出が可能です。

対 象 者	大 学 等 及 び 資 格 詳 細	証 明 書 類
〔1〕 大学等において化学に関する学科等を卒業した者 (P5別表1参照)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校・中等 教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力 開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所 在する大学等	卒業証明書 卒業証書 又は学位記 (学科等の名称が明記され ているもの)
〔2〕 大学等において化学に関する授業科目 を15単位以上修得 した者(P5～7別 表2参照)	大学、短期大学、高等専門学校(高等専門学校に あつては専門科目に限る)、大学院、専修学校 ◎(以上は通算可) 大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 防衛大学、防衛医科大学校、水産大学校、海上保 安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、 職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、 外国に所在する大学等	単位修得証明書又は 成績証明書 (修得単位が明記されてい るもの)
〔3〕 乙種危険物取扱者 免状を有する者	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物 製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年 以上の者	乙種危険物取扱者免状 及び 乙種危険物取扱実務経験証 明書
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を 受けている者 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類 ○第5類	乙種危険物取扱者免状
〔4〕 修士、博士の学位 を有する者	修士、博士の学位を授与された者で、化学に関す る事項を専攻したもの(外国の同学位も含む。)	学位授与証明書、学位記(注) 修了証書 又は修了証明書 注)学位を取得していること、か つ、化学に関する事項を専 攻したことがわかるもの

〔備考〕

- 〔1〕の高等学校及び中等教育学校の専攻科においては修業年限が2年以上のものに限ります。
- 〔1〕、〔2〕の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時間数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。(※ただし、証明書類に下記①、②いずれかの内容が記載されている場合を除く。)
①専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
②専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面(P7書式例1を参照してください。)
- 〔2〕の大学、短期大学、高等専門学校、大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。
- 〔2〕の「単位修得証明書」は、P7書式例2を参照してください。
- 〔3〕の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書のB面裏の様式を使用してください。(P17参照)
- 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある者は、その時の受験票又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。(コピー可)
- 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

別 表 1

化学に関する学科等の例

- 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称								
アイエオ	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科	
	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科	
	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科	
	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科	
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科	
	応用生物工学科		サ		材料開発工学科		生物機能工学科	物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科	
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科	
	応用微生物工学科		材料加工学科		生物資源利用学科		分子工学科	
	カ		環境生命科学科		材料学科		生物生産料学科	分子システム工学科
環境物質工学科		材料機能工学科	生物分子科学科	分子生物学科				
環境マテリアル学科		材料工学科	生物薬学科	分子生命科学科				
キ		基礎理学科	材料物性学科	精密素材工学科	分子素材工学科			
	機能高分子学科	材料物性工学科	精密物質学科	マ	マテリアル科学科			
	機能高分子工学科	材料プロセス工学科	生命理学科	マ	マテリアル工学科			
	機能材料工学科	シ	製薬学科	ム	無機材料工学科			
	機能物質科学科	色染工芸学科	繊維工学科	ヤ	冶金学科			
	機能分子工学科	資源工学科	繊維高分子工学科		冶金工学科			
	金属加工学科	資源素材工学科	ソ	総合薬学科	薬科学科			
	金属学科	システム量子工学科		総合薬品科学科	薬学科			
	金属工学科	食品科学科		素材工学科	薬剤学科			
	金属材料学科	食品学科	ト	塗装科	薬品科学科			
金属材料工学科	食品工学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科			
ケ	原子工学科		醗酵生産学科		窯業工学科			
	原子力科		フ	物質科学科	リ	林産学科		
	原子力工学科	セ	物質科学工学科		林産工学科			
	原子炉工学科		物質工学科					

別 表 2

化学の授業科目例

- 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称							
ア	アモルファス物性工学	エ オ カ	エレクトロニクス材料工学	カ	化工熱力学	カ キ	官能基変換論
	安全管理学		応化・プロセス工学		化工物理学		機器分析
	安全工学		回折結晶学		化工流体工学		機能高分子学
	安全防災工学		界面工学		化石エネルギー		機能性高分子材料学
イ	移動現象論		界面制御学		火薬学		機能性材料工学
	移動速度論		界面電子工学		ガラス工学		機能性触媒工学
	医薬品安全性学		界面物性		ガラス材料		機能性有機材料
	医薬分子設計学		科学史		ガラス状態論		機能セラミック論
エ	医用高分子機能学		核燃料工学		ガラス物性		凝固論及び結晶生成
	衛生工学		核燃料サイクル特論		環境汚染物質分析学		金相学
	衛生薬学		核融合概論		環境物質工学		金属学
	栄養学		核融合工学概論		感光物性論		金属加工学
	エレクトロセラミックス		化工熱工学		岩石学		金属工学

キ	金属材料学	サ	材料解析	セ	生体分子工学	テ	電解反応
	金属材料工学		材料開発工学		生体分子反応		電気材料学
ケ	金属製錬学		材料科学		製鉄製鋼耐火物		電気電子材料科学
	金属組織学		材料加工学		生物機能開発学		電気電子材料学
	金属の相変態		材料強度学		生物機能工学		電極反応論
	金属表面処理		材料強度物性学		生物機能利用学		電子材料
	金属物性		材料結晶学		生物学		電子物性
	計算溶液特論		材料工学		生物資源科学		伝熱工学
	結晶回折		材料構造解析学		生物資源利用学	ト	同位体地球科学
	結晶材料工学		材料精製工学		生物反応工学		毒劇物学
	結晶評価工学		材料精密工学		生物物性学		特殊機能セラミック
	原子エネルギー工学		材料組織学		生物分子科学		毒性学
	原子核工学		材料組織形成論		生物薬学		毒物学
	原子力工学		材料熱力学		精密材料物性		土壌学
	原子炉材料学		材料反応学		精密素材工学		塗装学
	原子炉燃料		材料物性学		精密分離工学		塗料工業科学
コ	高温材料		材料物理学		精密有機合成特論	ニ	ニューセラミック学
	高温反応工学		材料プロセス設計		製薬学	ネ	燃焼学
	光学活性体合成論		錯塩基及び酸化還元		生理活性物質学		燃焼工学
	高機能材料特論	シ	産業廃水処理		精錬漂白論		燃焼熱工学
	高機能材料プロセス特論		色彩工学		石油開発工学		燃焼物理科学
	工業火薬学		色染実験		石油生産工学		粘土工学
	工業材料		システム安全工学		接合学		燃料工学
	工業排水処理		焼結固体反応論		接着及び接着剤		燃料工業
	工業爆薬学		焼成材料		接着学		燃料燃焼潤滑論
	工業反応速度論		醸造学		セメント工学		燃料燃焼論
	工業微生物		醸造工学		セラミック科学	ノ	燃料分析学
	工業分析		醸造工業概論		セラミック基盤材料	ハ	農薬学
	格子欠陥		状態方程式特論		セラミック工学		バイオテクノロジー
	公衆衛生学		触媒工学		セラミック材料学		バイオプロセス工学
	高重合反応		触媒設計		セラミック概論		培養工学
	合成鉱物		触媒反応工学		セラミック材料工学		爆発工学
	抗生物質		食品衛生学		セラミック電子材料		薄膜材料工学
	厚生薬学		食品栄養学		セラミックプロセッシング		醗酵学
	合成薬品製造学		食品科学		セルロース科学		醗酵工学
	構造用金属材料		食品工学		繊維高分子工学		醗酵工業論
	酵素利用学		食品工業微生物学		選鉱学		醗酵生産学
	鋼中非金属介在物		食品分析学	ソ	先端材料物性特論		パルプ学
	鉱物学		植物分子生物学		相平衡論		パルプ工学
	高分子科学		人工結晶	タ	相変態論		半導体工学
	高分子学		人造繊維工学		素材工学		半導体材料
	高分子工学	ス	新薬論		耐火物概論		半導体デバイス工学
	高分子合成	セ	水質学		耐熱材料痛論		反応工学
	高分子構造		製剤学		多結晶材料工学		反応性物質材料
	高分子固体構造論		製剤工学		単位操作		反応操作
	高分子コロイド科学		製紙科学		単位反応学		反応速度論
	高分子材料学		製紙学		単結晶材料工学	ヒ	非金属材料
	高分子反応		製紙工学		蛋白質工学		非晶質科学
	高分子物性論		製造薬学	チ	超高温材料		微生物遺伝学
	固相変態論		生体機能工学	テ	調剤学		微生物学
	固体反応		生体機能電気科学		鉄鋼材料学		微生物機能学
	固体表面科学		生体機能利用学		鉄鋼表面処理		微生物工学
	固体物性論		生体工学		鉄冶金		非鉄材料学
	固体平衡論		生体高分子学		定性分析		非平衡論
サ	コロイド学		生体触媒学		定量分析		表面・界面工学
	細胞培養学		生体光反応学		電解製錬工学		表面工学

ヒ	表面分析 肥料学	フ	分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学	ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 免疫薬剤学	ユ	有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性
フ	ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学	ヘ	平衡論 平衡・反応論	メ	木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学	コ	窯業工学 窯炉工学
		ホ	放射線計測学 放射線物性計測学	モ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	リ	粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー
		マ	膜機能工学 マテリアル工学	ヤ	有機機器分析 有機機能性材料	ロ	
		ミ	水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論	ユ			

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

〇〇第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)

〇〇 年 月 日 入学 〇〇科〇〇コース
 〇〇 年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇
 年 月 日 生

学校教育法第 124 条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 〇〇 年 月 日 号	
課 程 の 名 称	〇〇〇〇専門課程
修 業 年 限	2 年
課程の修了に必要な総授業時数	1700 時間

上記のとおり証明する。
 年 月 日
 (専修学校の所在地)
 〇〇専門学校 学校長 氏名 〇〇 〇〇印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例 2 単位修得証明書

〇〇第 号

単位修得証明書

〇〇 年 月 日 入学 〇〇部 〇〇科
 〇〇 年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇
 年 月 日 生

化学に関する 科 目 名	修得 単位	化学に関する 科 目 名	修得 単位
有 機 化 学	4	高 分 子 化 学	2
無 機 化 学	4	分 析 化 学	2
燃 焼 工 学	3	反 応 速 度 論	2

上記のとおり証明する。
 年 月 日
 〇〇大学 学校長 氏名 〇〇 〇〇印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。
 《注》学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

5 受験申請について

1) 電子申請（操作方法の問い合わせ先：0570-07-1000）

申請は、（一財）消防試験研究センターホームページ（<http://www.shoubo-shiken.or.jp>）から行ってください。なお、詳細にあたっては同ホームページをご覧ください。

危険物取扱者免状以外の資格で、試験科目の一部免除を希望又は甲種試験を受験する方は、4ページ等を参照し、証明書類を電子ファイル化（JPEG形式又はPDF形式）したものを申請情報入力画面に従ってアップロードしていただきますので、ご準備をお願いします。

なお、証明書類が旧姓で現在の性と一致しない場合、新旧の氏名が確認できる書類（運転免許証＜旧姓記載＞、戸籍抄本、住民票等）を証明書類と併せてアップロードしてください。

※電子ファイル化に際しての留意事項

1 電子ファイル化は、

- ① デジタルカメラ・スマートフォンで撮影したもの又はスキャンしたもの
 - ② 証明書類の全体が鮮明に確認できるもの
 - ③ 印影が欠けていないもの
- としてください。

2 証明書類を撮影する場合は、机等の平らな場所に置いて全体を写し、ピントを合わせて鮮明に撮影してください。

3 原本を確認させていただく場合がありますので、原本は保管しておいてください。

4 アップロードできるファイルサイズは合計10メガバイトまでです。

【ご注意】

ご自身の受験資格の有無は、必ず事前に本試験案内、ホームページでご確認ください。

ご不明な場合は、奈良県支部にお問い合わせください。

※電子申請の受付時間は、開始日の9時00分から最終日の23時59分までです。

終了間際は回線混雑等により受付できなくなる可能性がありますので、早めの申請をお願いします。

2) 書面申請

受験する種類ごとに、次の書類が必要です。

- ① 受験願書（願書は、県内の各消防（局）本部・消防署、県消防救急課、啓林堂書店（郡山店、奈良店、学園前店、生駒店の4店舗）、喜久屋書店橿原店、当支部で配布しています。）
- ② 払込用紙で試験手数料の払込みをした方は、試験手数料の「振替払込受付証明書（お客さま用）」と記載されたもの（右端の赤枠で囲ったもの）。
- ③ 甲種を受験する方は、別記1の対象者に応じた卒業証書等の証明書類（4ページ参照）、なお、乙種免状を取得してから2年以上の実務経験を有することを証明する事業主等の証明書は、受験願書のB面裏の様式に記入してください。
- ④ 丙種危険物取扱者の一部免除を受ける消防団員の方は資格証明が必要です。（13ページ参照）
- ⑤ 既得危険物取扱者免状
免状を既に持っている方は、その種類にかかわらず、免状の写を必ずB面裏に貼付してください。

3) 試験手数料の払込み方法

① 試験手数料について

甲 種	7,200円
乙 種	5,300円
丙 種	4,200円

② 電子申請の場合

払込方法は、次の決済方法から選択できます。試験手数料の払込みには、所定の払込手数料が必要になります。

ア) ペイジー (Pay-easy) 決済 ※情報リンク方式、オンライン方式

イ) コンビニエンスストア決済 (セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ (一部店舗を除く。))

ウ) クレジットカード決済 (VISA、Master Card、JCB、アメリカンエクスプレス、ダイナース)

エ) スマホ決済 (PayPay、メルペイ)

※ 一般財団法人消防試験研究センターでは、電子申請に係る試験手数料の収納に関して、全て三井住友カード株式会社に業務委託しております。

③ 書面申請の場合 (払込用紙で払込みの場合)

ア) 受験願書と一緒に受領した所定の払込用紙を使用する場合は、前①の試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。

試験手数料の払込みには、所定の払込手数料が必要になります。

イ) 次に「振替払込受付証明書 (お客さま用) 受験願書貼付用」を願書B面の試験手数料欄にのり付けしてください。(本人控えの「振替払込請求書兼受領証」を貼らないように、注意してください。)

また、複数種類の受験の場合は、それぞれの受験願書B面の試験手数料欄にのり付けして下さい。「振替払込受付証明書 (お客さま用) 受験願書貼付用」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。紛失、汚損等した場合は、再度払込みの上、新たな「振替払込受付証明書 (お客さま用) 受験願書貼付用」を受験願書に貼り付けてください。

なお、再度払い込みをした後で、紛失した「振替払込受付証明書 (お客さま用) 受験願書貼付用」を発見したときは、還付申請により先に払い込まれた試験手数料をお返しします。

④ 書面申請の場合 (受験願書B面の2次元コード経由で払込みの場合)

ア) 払込方法は②電子申請の場合と同じ。

イ) 決済完了後、決済完了メールに記載されている決済完了番号 (18桁) を受験願書B面の決済完了番号記入欄に記入してください。

⑤ 一旦納入された試験手数料はお返しできません。

6 受験票および写真について

1) 受験票の送付方法

① 電子申請の場合

試験日の10日～2週間前に、申請時に入力された電子メールアドレスあてに、受験票がダウンロードできる旨のメールが送信されます。

受験者本人が受験票をダウンロードして印刷（A4サイズ）し、下記2）の写真を貼付して、試験日当日必ず持参してください。

② 書面申請の場合

試験日の10日～2週間前に郵送します。郵送された受験票に、下記2）の写真を必ず貼付して、試験日当日持参してください。

受験票が届かない場合は、必ず試験の3日前までの平日9時～17時に当支部へ連絡してください。

2) 写真について（電子申請、書面申請共通）

受験日前6ヶ月以内に撮影した正面向き、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景、上三分身像の縦4.5cm、横3.5cmの大きさ（パスポート用サイズ）、枠なしとし、鮮明なもの（裏面に撮影年月日、氏名及び年齢を記入してください。）を1枚準備してください。デジタルカメラで撮影されたものは、写真専用紙で印刷した鮮明なものとしてください。

写真は受験者本人の確認及び危険物取扱者免状作成に使用しますので、試験当日は、写真を貼った受験票を必ず持参してください。なお、試験会場及び周辺に証明写真撮影機（スピード写真機）はありません。

7 試験当日の注意事項

- 1) 受験票を持参しないと受験できません。
- 2) 受験票に前6の2)に記した写真を貼付していないと受験できません。
- 3) 試験問題集及び解答カードは持ち帰ることはできません。また、問題集の一部を切り取ったりカメラ等で撮影することもできません。このような行為は、失格となりますので注意してください。
- 4) 参考書、法令集等の参照は一切できません。
- 5) 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。（これらの電子機器類を時計として使用することはできません。）
- 6) カンニング等により不正行為とみなされた場合、受験は直ちに中止、退室となり、試験は失格となります。

【書面申請者用受験票】 ※受験票はイメージです。

郵便はがき

料金後納郵便

親展

999-9999

〇〇県〇〇市〇〇町

1-23-45

消防 太郎 様

受験票

(一般) 消防試験研究センター 〇〇県支部

T 123-4567

〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町 1-23-45

〇〇市センタービル 10階

Tel 123-456-7890

999 9999 0001

危険物取扱者試験 受験票(控)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	消 防 太 郎		
試験日時	令和00年00月00日[1/2] 9時00分集合 9時30分試験開始		
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1 受験票メッセージ1...> 受験票メッセージ2...>		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
1 受験票がない場合
2 受験票に写真を貼っていない場合
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み
に必要ですので、大切に保管してください。

危険物取扱者試験 受験票

写 真

縦4.5cm×横3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢
及び撮影年月日を記載
6ヶ月以内に撮影したもの
(正面、無帽、無背景、上三
分身像)
しっかりとのり付けてくだ
さい。(セロハンテープ不可)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。		
試験日時	令和00年00月00日[1/2] 9時00分集合 9時30分試験開始		
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			

8014211225050E100013 免なし
001-01-0001 00001
試験当日、この受験票は回収します。

【電子申請者用受験票】 ※受験票はイメージです。

注 意 事 項

- 1 次の場合は受験することができません。
 - (1) 受験票がない場合
 - (2) 受験票に写真を貼っていない場合
 - (3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 2 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 3 受験票、鉛筆(B又はHB)、消しゴムを持参してください。
- 4 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 5 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 6 本人確認のため、身分証明書(運転免許証等)の提示をお願いすることがあります。
- 7 電話による合否の問い合わせには、応じられません。
- 8 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。
- 9 試験日時を変更する場合には、ホームページに奈良支部からの緊急情報又は重要なお知らせとして掲示します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して延期等する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲示します。

(一財) 消防試験研究センター ○○県支部
〒123-4567 Tel 123-456-7890
○○県○○市○○区○○町1-23-4○○市センタービル10階

危険物取扱者試験 受験票

写 真
縦4.5cm×横3.5cm
写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載6ヶ月以内に撮影したもの(正面、無帽、無背景、上三分身像)
しっかりとのり付けてください。(セロハンテープ不可)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類	
カナ氏名	ショウボウ タロウ			
受験者氏名を「かい書」で記入してください。				
氏 名				
試 験 日 時	令和 00 年 00 月 00 日[1/2] 9 時 00 分集合 9 時 30 分試験開始			
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1			
免除科目	免除科目なし	資格判定 コード	01	
既得免状				

8014211225050E100013 免なし
001-01-0001 00001
試験当日、この受験票は回収します。

危険物取扱者試験 受験票(控)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏 名	消 防 太 郎		
試 験 日 時	令和 00 年 00 月 00 日[1/2] 9 時 00 分集合 9 時 30 分試験開始		
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1 受験票メッセージ1 ---> 受験票メッセージ2 --->		
免除科目	免除科目なし	資格判定 コード	0 1
既得免状			
受 験 者 現 住 所			

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
1 受験票がない場合
2 受験票に写真を貼っていない場合
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要ですので、大切に保管してください。

8 試験種類・試験科目・問題数および試験時間

種 類	試 験 科 目	略称	問題数	合計	試験時間
甲種危険物 取扱者試験	① 危険物に関する法令	法令	15問	45問	2時間 30分
	② 物理学及び化学	物化	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	20問		
乙種危険物 取扱者試験 (1類～6類)	① 危険物に関する法令	法令	15問	35問	2時間
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学	物化	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	10問		
丙種危険物 取扱者試験	① 危険物に関する法令	法令	10問	25問	1時間 15分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識	燃消	5問		
	③ 丙種危険物取扱者が取り扱うことのできる危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	10問		

〔備考〕乙種危険物取扱者試験は第1類から第6類までの類別ごとに行います。

9 試験の方法

- 1) 試験科目、問題数、試験時間については前記8を参照してください。
- 2) 試験は筆記とし、甲種・乙種は5肢択一式、丙種は4肢択一式で行います。
- 3) 試験当日は、受験票(必ず写真を貼って下さい。)・HB又はBの鉛筆(シャープペンシル含む)・消しゴムを必ず持参してください。
- 4) 試験室では、電卓・定規類・携帯電話・スマートフォン等の電子機器類は一切使用できません。
携帯電話の電源は必ず切り、カバン等にしまってください。
(これらの電子機器類を時計として使用することはできません)

10 乙種危険物取扱者試験の一部免除

乙種を受験する方で、次の免除資格がある場合は試験科目の一部を免除します(火薬類免状については受験申請時に申し出た場合に免除します)。

この場合、試験時間が短縮されます。又第1類若しくは第5類の受験者で火薬類免状を有する者は、申請により、物化の一部、性消の一部を免除します。(申請時に免状の表・裏の写を必ず提出してください。)

乙種危険物取扱者試験における試験科目の一部免除については下表のとおりです。

免 除 資 格	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
①乙種危険物取扱者免状を有する者	全類	① 法令	全部免除	0問	10問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消		10問		
②火薬類免状を有する科目免除申請者	第1類 第5類	① 法令		15問	24問	1時間 30分
		② 物化	一部免除	4問		
		③ 性消	一部免除	5問		
③乙種危険物取扱者免状を有し、かつ火薬類免状を有する科目免除申請者	第1類 第5類	① 法令	全部免除	0問	5問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消	一部免除	5問		

〔備考〕火薬類免状は、次の免状を意味します。

- ◇ 甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状(火薬類取締法)
- ◇ 甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状(火薬類取締法)

11 丙種危険物取扱者試験の科目免除

丙種危険物取扱者試験を受ける者で、5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者（普通教育を修了した者については同様とみなします。）は、燃焼及び消火に関する基礎知識を免除します。

丙種危険物取扱者試験における試験科目免除及び添付証明書については、下表のとおりです。

受 験 者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防学校の教育訓練のうち基礎教育又専科教育の警防科を修了した者	危険物に関する法令	なし	10問	20問	1時間00分
	燃焼及び消火に関する基礎知識	全部免除	0問		
	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	なし	10問		
証 明 書 類	消防団員歴は消防団長が発行する証明書及び消防学校の教育修了証 (教育修了証はコピーで支障ありません)				

12 複数種類の受験（電子申請でも申請可能になりました。）

1）午前の試験時間帯での複数受験

前記10の表（12ページ参照）の免除資格①、③に該当する者で、申し出た場合は、乙種について3種類まで受験できます。この場合、**それぞれの種類ごとに願書を作成**し、提出してください。

2）午前の試験時間帯及び午後の試験時間帯での併願受験

乙種第4類（午後）とそれ以外の種類（午前）の併願受験ができます。この場合も **それぞれの種類ごとに願書を作成**し、提出してください。

※ 電子申請では、先に「複数または同日併願の追加申請」欄で「追加申請する」を選択してください。

13 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験ともに、試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上であること。（試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。）

なお、乙種第1類又は第5類の受験者であって、前記10（12ページ）により試験科目の一部が免除された者については、免除された以外の問題で上記の成績であること。

14 合格発表

1）合格発表予定日

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
令和7年6月4日(水)	令和7年9月3日(水)	令和7年12月4日(木)	令和8年3月5日(木)

2）支部の窓口にて、合格者の受験番号を公示するとともに、受験された方全員に「試験結果通知書」（郵便ハガキ）で合格の結果を通知します（合格発表日に発送します）。また、正午から（一財）消防試験研究センターのホームページ（<http://www.shoubo-shiken.or.jp>）に合格者の受験番号を掲示します。

なお、電話等による合否、試験結果内容等の問い合わせには一切応じられません。

3）試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは、当センターとはまったく関係ありませんので注意してください。

15 その他の注意事項

- 1) 受験のために提出された書類等は、一切お返しできません。
- 2) 受験者は、この「試験案内」をよく読んで、試験当日は試験開始30分前までに来場し、係員の説明をよく聞いて受験してください。
- 3) **試験当日は写真を貼った受験票を必ず持参してください。受験票を忘れたり、受験票に写真を貼っていない場合は、受験できません。**
- 4) 受験願書への虚偽の記載、虚偽の証明書の提出、また会場で係員の指示に従わなかったり、試験問題・解答カードの持ち帰りや廃棄、試験問題の写し取り等、その他不正・不当な行為があった場合は受験を拒否したり、合格を取り消すことがあります。
- 5) 車で来場の際は、ガードマンの指示に従って駐車してください。
- 6) 試験会場内は、禁煙です。(指定された場所で喫煙してください。)

16 免状交付申請の手続き

合格された方は、郵送された結果通知書及び免状交付申請書により下記の手続きを速やかにしてください。

1) 申請の方法

合格された方は、指定された日（免状交付申請書に記載）までに次の書類等を当支部へ持参または郵送（郵送の場合は**簡易書留**で指定日必着のこと）により提出してください。

なお、指定日を過ぎても免状の交付は順次行います。

2) 提出する書類等

① 免状交付申請書及び結果通知書

記載事項に誤りがないか確認し、申請者氏名等を記入してください。訂正がある場合は朱書で訂正してください。結果通知書は切り離さないでください。

② 交 付 手 数 料

2,900円分の**奈良県収入証紙**(印紙ではありません。)を申請書の裏面に貼ってください。証紙は南都銀行本店・一部の支店、県庁総務厚生センター等で販売。詳しくは当支部までお問い合わせください。県外の方は現金の郵送（現金書留）も可。ただし領収書の発行はできません。
※手数料の納付については、証紙・現金共に過不足の無い様に納めてください。

③ 免状送付用封筒

定形封筒（横12cm×縦23.5cm）に住所・氏名を記入し、簡易書留郵便料金分の切手を貼り、裏面に受験番号を記入してください。
※簡易書留郵便料金460円（令和7年4月1日現在）

④ 既得危険物取扱者免状

現在、他の類の免状を持っている方は、免状交付申請手続きに必要ですので、**必ず申請時に返却**してください。**紛失された方は交付又は書換した都道府県に再交付**申請をしてください。

免状に旧姓併記が可能になりました。希望される方は、申請前に奈良県支部にお問い合わせください。

- 16 –

各種証明書等貼付欄

この部分にのりづけして貼付してください。

なお、この部分に「振替払込受付証明書」は貼付しないでください。

都道府県等コード表

北海道	01	福島	07	東京	13	山梨	19	滋賀	25	鳥取	31	香川	37	熊本	43
青森	02	茨城	08	神奈川	14	長野	20	京都	26	島根	32	愛媛	38	大分	44
岩手	03	栃木	09	新潟	15	岐阜	21	大阪	27	岡山	33	高知	39	宮崎	45
宮城	04	群馬	10	富山	16	静岡	22	兵庫	28	広島	34	福岡	40	鹿児島	46
秋田	05	埼玉	11	石川	17	愛知	23	奈良	29	山口	35	佐賀	41	沖縄	47
山形	06	千葉	12	福井	18	三重	24	和歌山	30	徳島	36	長崎	42	外国籍	99

乙種危険物取扱実務経験証明書

「実務経験
2年以上」
で甲種受験
する方のみ
必要です

氏 名			年 月 日生
取り扱った 危険物	第 類	品 名	
取り扱った 期 間	年 月 日から 年 月 日まで (年 月)		
製造所等 の 区 分	・ 製造所 ・ 貯蔵所 ・ 取扱所		
上記のとおり相違ないことを証明します。			
証明年月日	令和 年 月 日		
事業所名			
証 明 者	役 職	氏 名	印
	電 話	-	印

事業所（会社等）の印

証明者の私印

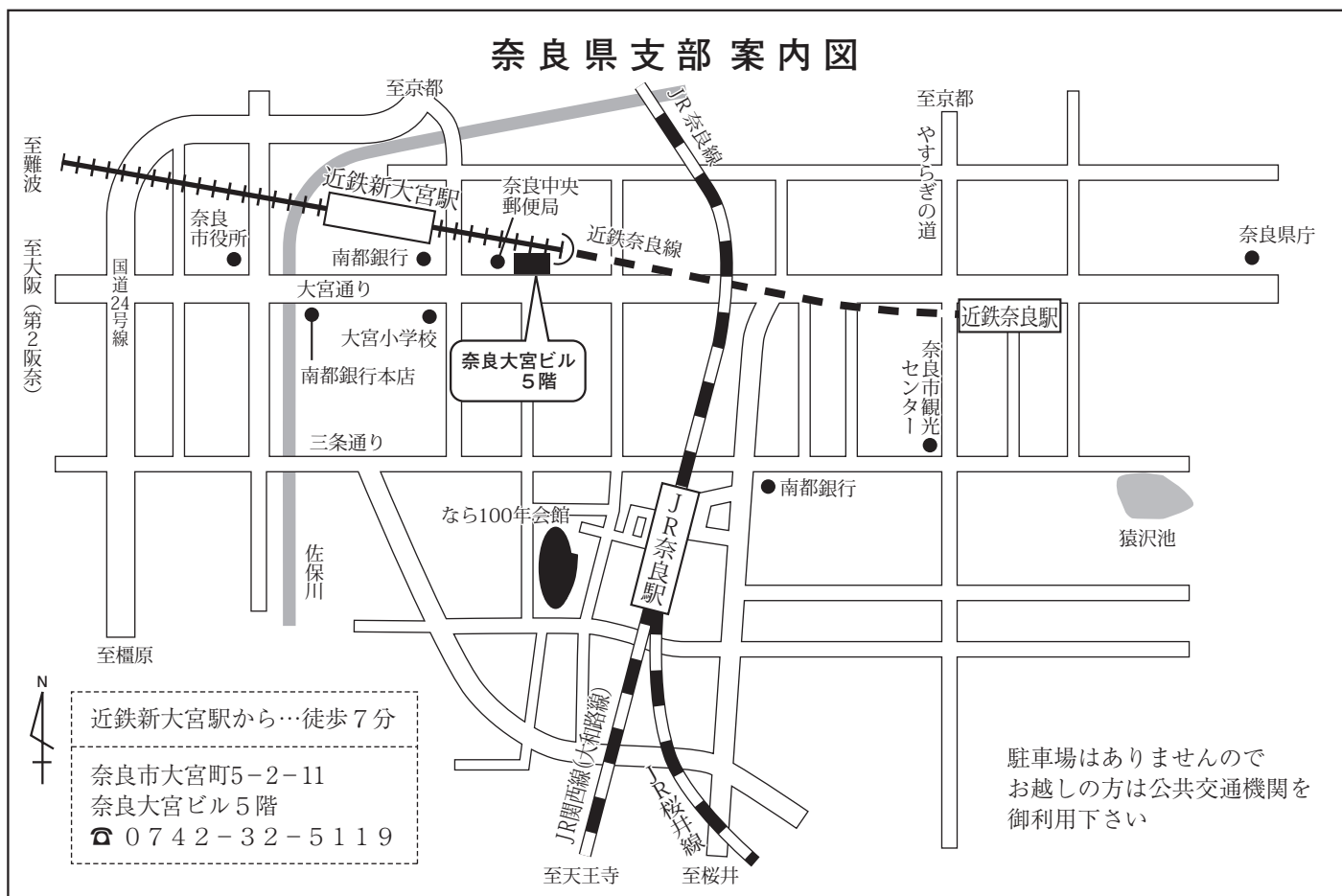
甲種危険物取扱者試験を受験する方は、各種証明書類（必要事項が記入されており、押印されているもの）を貼付してください（消防法第13条の3第4項第1号及び第2号）。

既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

裏

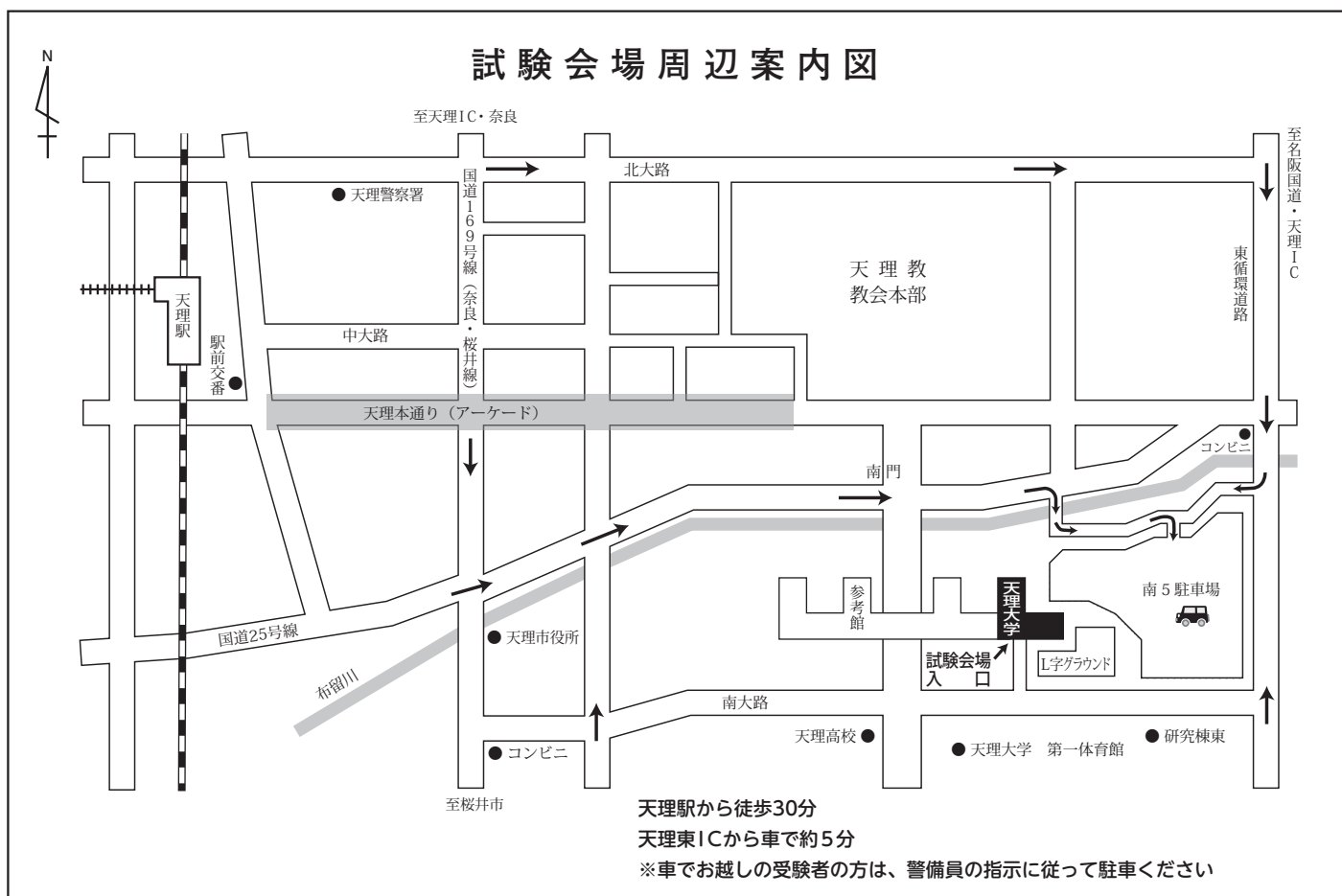
表

奈良県支部案内図



駐車場はありませんので
お越しの方は公共交通機関を
御利用下さい

試験会場周辺案内図



◎ 個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

MEMO

試験の種類とその免状で取り扱うことができる危険物の種類

危険物取扱者試験		
試験の種類		取扱いができる危険物
甲	種	すべての種類の危険物
乙	第1類	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類、臭素酸塩類、硝酸塩類、よう素酸塩類、過マンガン酸塩類、重クロム酸塩類、過よう素酸塩類、過よう素酸・クロム、鉛又はよう素の酸化物・亜硝酸塩類・次亜塩素酸塩類・塩素化イソシアヌル酸・ペルオキシニ硫酸塩類・ペルキオソほう酸塩類、炭酸ナトリウム過酸化水素付加物、前記のいずれかを含有するもの 【酸化性固体】
	第2類	硫化りん、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム、前記のいずれかを含有するもの、引火性固体 【可燃性固体】
	第3類	カリウム、ナトリウム、アルキルアルミニウム、アルキルリチウム、黄りん、アルカリ金属（カリウム及びナトリウムを除く）及びアルカリ土類金属、有機金属化合物（アルキルアルミニウム及びアルキルリチウムを除く）、金属の水素化物、金属のりん化物、カルシウム又はアルミニウムの炭化物、塩素化けい素化合物、前記のいずれかを含有するもの 【自然発火性物質及び禁水性物質】
	第4類	特殊引火物（ジエチルエーテル等）、第1石油類（ガソリン、トルエン、アセトン等）、アルコール類（メチルアルコール、エチルアルコール等）、第2石油類（灯油、軽油、酢酸等）、第3石油類（重油、クレゾール、グリセリン等）、第4石油類（ギヤー油、シリンダー油）、動植物油類（パーム油、アマニ油等） 【引火性液体】
	第5類	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物、ニトロソ化合物、アゾ化合物、ジアゾ化合物、ヒドラジンの誘導体、ヒドロキシルアミン、ヒドロキシルアミン塩類、金属のアジ化物・硝酸グアニジン、前記のいずれかを含有するもの 【自己反応性物質】
	第6類	過塩素酸、過酸化水素、硝酸、ハロゲン間化合物、前記のいずれかを含有するもの 【酸化性液体】
丙	種	ガソリン、灯油、軽油、第3石油類（重油、潤滑油及び引火点130℃以上のものに限る）、第4石油類及び動植物油類
※・甲種は全類の危険物、乙種は指定の類の危険物について、取扱いと定期点検及び保安の監督ができます。 ・丙種は、第4類危険物のうち指定された危険物に限り、取扱いと定期点検ができます。		

お問い合わせ先



（一財）消防試験研究センター
奈良県支部

〒630-8115 奈良市大宮町5-2-11

奈良大宮ビル5階

TEL (0742) 32-5119

FAX (0742) 32-5120